

3374 夢挑戦の原点：野尻湖・英語合宿

合宿で日本語は一切禁止。四苦八苦とは、思い通りに行かない。思い通りに伝えられない。

思い通りに表現できない。四苦八苦の思い出が今は懐かしい。

自分の語学力の無さを、思い知らされた瞬間だった。ヒヤリングも落第。

友人たちは優秀。楽しそうだった。

50歳からの夢挑戦、現在まで継続できているのは、英語で簡単な日常の意思表示ができた事。

学生時代、毎日のランチタイムミーティングも日本語は一切禁止だった。

野尻湖合宿はそのテスト。そのおかげで、50歳からの夢挑戦が可能になり、今日がある。

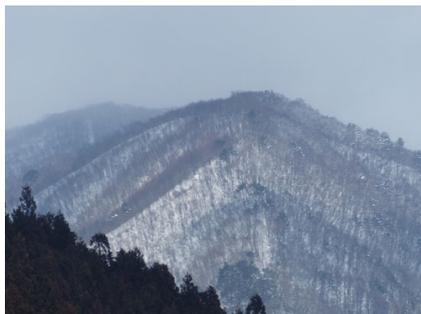
その後の特訓や頑張りもあった。青春時代が懐かしい。しかし、今が大切。



野尻湖の現場に立ちたかった。気合も入れなおしたい。有難い。夢が実現。
その結果、2017年12月から2018年1月、1ヶ月間のフランス・パリ滞在にも結びついた。

今さらでなく「また背伸び 出来る嬉しさ 夢挑^{いど}み」

寒さも何のその。走馬灯のように当時の思い出がよみがえってきた。そして、気が注入された
夢を見るのをやめる時が、我が人生をやめる時。人生まだまだ。勉強もしたい。



その後、当時から興味を持っていた俳人・小林一茶の足跡をたどった。
上手下手ではなく、汗かく恥かくでいいから、俳句や短歌の真似事を、今から勉強したい。
いい機会なので、出来る事を出来る時にと… 現場をその時の心境で体感。
落書きをノートに。いい思い出がまた積み重なった。

